

第2学年 国語科 シラバス

1 教科の目標

(1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
(2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

2 評価の観点・規準・材料

評価の観点	評価項目（評価規準）	評価材料・評価場面
I 知識・技能	社会生活に必要な国語について、知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。 ・言葉の特徴や使い方に関すること ・情報の扱い方に関すること ・我が国の言語文化に関すること	定期考査 漢字・文法テスト 語句の使い方 意味調べ 書写への取り組み・暗唱等
II 思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 ・話すこと・聞くこと ・書くこと ・読むこと	定期考査等 発表 話し合い 聞き取りテスト 作文 授業での発言 ワークシートの内容 ノートへの取り組み
III 主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。	授業への取り組み 提出物 授業中の課題、ワークシートへの取り組み 家庭学習への取り組み等

3 年間指導計画

学期	月	単元
一学期	4月	「見えないだけ」読むこと 「アイスプラネット」読むこと 「意見を聞き整理して検討する」書くこと等
	5月	「魅力的な提案をする」話すこと・聞くこと 「枕草子」読むこと 「クマゼミ増加の原因を探る」読むこと等
	6月	「思考の視覚化」情報の扱い方に関すること 「短歌」読むこと 「言葉の力」読むこと等
	7月	「類義語、対義語、多義語」言葉の特徴や使い方に関すること 「デジタル市民として生きる」情報の扱い方等
一学期	9月	「字のない葉書」読むこと 「表現を工夫して書く」書くこと 「聞き上手になる」話すこと・聞くこと
	10月	「モアイは語る——地球の未来」読むこと 「根拠の吟味・意見文を書く」書くこと 「平家物語」読むこと・我が国の言語文化に関すること
	11月	「仁和寺にある法師」読むこと・我が国の言語文化に関すること 「具体と抽象」読むこと等
	12月	「話し合いの流れを整理する」話すこと・聞くこと 「文法」言葉の特徴や使い方に関すること等
三学期	1月	「走れメロス」読むこと 「漢字に親しもう」言葉の特徴や使い方に関すること 「描写を工夫して書く」書くこと等
	2月	「話し言葉と書き言葉」言葉の特徴や使い方に関すること 「国語の学びを振り返ろう」話すこと・聞くこと等
	3月	「鍵」読むこと 「国語の力試し」読むこと・話すこと・聞くこと等

4 学習のポイント

1. A. B. C の基準
I 知識・技能
A 漢字、文法、書写等の活動において、目標の8割以上達成できている。
B 漢字、文法、書写等の活動において、目標の5割以上達成できている。
C 漢字、文法、書写等の活動において、目標の5割以上達成できていない。
II 思考・判断・表現
A 言語活動（読む・書く・話す・聞く）において、目標の8割以上達成できている。
B 言語活動（読む・書く・話す・聞く）において、目標の5割以上達成できている。
C 言語活動（読む・書く・話す・聞く）において、目標の5割以上達成できていない。
III 主体的に学習に取り組む態度
A 授業や各活動に粘り強く取り組み、自身で学びを調整することにおいて、8割以上達成できている。
B 授業や各活動に粘り強く取り組み、自身で学びを調整することにおいて、5割以上達成できている。
C 授業や各活動に粘り強く取り組み、自身で学びを調整することにおいて、5割以上達成できていない。
2. 学習を進めていく上でのポイント
①積極的に自分の意見や考えをもって伝えること。②わからないことをそのままにせず、粘り強く学習を継続すること。
③すべての提出物は必ず期日を守ること。

